

会 議 録

会 議 の 名 称	第2回 大内地域協議会
開 催 日 時	平成18年10月20日（金） 午前9時30分
開 催 場 所	農村環境改善センター
出 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	田口 良一（副会長） 加藤 龍一 佐々木 源治 齊藤 豊 田口 正夫 伊藤 花子 伊藤 直子 東海林 長子
会議次第 1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 案件及び意見聴取 1) 来年度予算についての意見・提言 2) その他 4. その他 5. 閉会	
会 議 の 経 過	別紙のとおり

出席者名簿

(37名)

会 長	小松 敏博	富士盛久美子	総合支所
	佐々木盛三	東海林 重	地域自治区長 小笠原察雄
	鈴木 郁夫	堀川 一博	総合支所長 遠藤 憲男
	小嶋 宏	佐々木ハツ	振興課長 斉藤 光一
	佐々木政勝		建設課長 加藤 徹朗
	小松 弘		教育課長 小助川弘高
	佐々木恭悦		市民課主席参事 佐藤ユリ子
	東海林 昇		生涯学習課長 東海林一昭
	鈴木 久雄		福祉保健課長 佐々木妙子
	鈴木 哲		産業課長 鈴木 一
	佐々木多悦		CATV センター所長
	金子 幸子		伊藤 鋭一
	東海林スツエ		事務局
	布施 隆子		主席参事 遠藤 信悦
	佐々木秀雄		参 事 山口 光也
	佐々木正男		課長補佐 堀 良隆
	小笠原良一		主 査 真坂 輝仁
	吉田千代治		主 任 鈴木 司

会議の経過

第2回 大内地域協議会

平成18年10月20日（金）

午前9時30分 開会

事務局

只今から第2回大内地域協議会を開催します。
会長よりあいさつをお願いします。

会長あいさつ

（省略）

事務局

案件に入ります。進行を会長よりお願いします。

会長

案件1について説明してください。

遠藤総合支所長

私から、本年度の予算概要と主要事業のご説明をいたします。
（予算概要と由利本荘市主要事業説明）

会長

主要事業の説明がありました。
来年度予算について、日頃皆さんお考えのことを出していただきたい。
本年度の事業計画で、未着工事業はあるか。

斉藤振興課長

予算のついた事業につきましてはほとんど、起工又は発注済みであると思います。順調に推移しているものと考えております。

会長

携帯電話の鉄塔は事業にかかっているか。

堀課長補佐

滝字曲沢地内、旧大内町の採石場跡地に建設予定です。現在、鉄塔本体建築工事が着手になりました。今回、NTTドコモとKDDIの2社が事業実施を申し出ております。それらの電気通信工事のための設計を発注いたしました。本体建築工事の工期は来年3月9日、事業全体の工期は、来年3月16日として事業を進めております。

委員A

この総合発展計画にあるものは予算付けがされているので、基本的には特別なことが無い限りこのまま実施されると理解してよろしいか。

遠藤総合支所長

基本的にはおっしゃるとおりです。ただご承知のように財政状況が厳しく、優先順位をつけて事業推進したい。今後財政当局と協議してまいります。事業内容により、大内地域のみならず、先送りになる可能性がある。財政状況により、総合発展計画に乗っている全事業が実施されることは、現時点では確約できませんのでご理解ください。

委 員 B

芋川桜づつみ河川緑地整備事業について。我々は「芋川を楽しむ会」を組織し、最低年2回桜の周りの草刈を実施している。だが、草刈も強制ではなく来ない人もあり、ばらばらな対応となっている。このままでは枯れる桜もでることが心配される。せっかく立派に整備されたのだから、自然環境保全の立場から、今後の対応策があったらうかがいたい。

加藤建設課長

芋川を楽しむ会や各方面の方たちとご相談しながら進めていかなければならないと考えている。今後、検討していきたい。

委 員 B

作業時間の延長で、自分の持ち場以外も刈るようにしたらどうか。桜の花を見ることができるよう、年次計画等ありましたらお願いしたい。

会 長

以前いただいた、草を刈る機械の活動状況はどうか。

小笠原区長

(桜を植えたときの状況とその後の経過について説明。)

現在は、「芋川を楽しむ会」を中心に子供たちやライオンズクラブが手伝ってやっている状況だ。草が残っている箇所でも、機械で刈るには危険と思われるところもある。

地域によっては、県の制度を活用してかなり広い範囲の草刈をしているところもある(他地域の取組紹介、小額だがお金も出ている)。来年度からでも、そのような制度を利用しながらでも地域の応援、協力をお願いできればありがたい。

委 員 C

6月の地域協議会の際、私は農業政策について申し上げた。「農業総合指導センター」に関して、大内市民祭の農産物展を主管するとなっており理解したところだが、農業者大会は今年度分はやれないとの話だったが、これは大内単独でもやるべきと今も思っている。農業貢献者の表彰、小中学生による農業に関する発表、講演会と非常に充実した内容である。由利本荘市として一本化になったようだが、我々が20年近くも続けてきたものが、合併ということで(地域の行事が)なくなってしまうことが残念でならない。先日の広報を見ると「米祭り」に関して2頁に渡り大々的に扱われているが、

つぎの1頁に各地域の市民際が掲載されている。「米祭り」は由利本荘市が行っているのか、本荘地域でやっているのか。事業が何でも本荘に集約されているように感じられてならない。大内の基幹産業は農業といわれながら農業振興の方向性が見えない。本気で農業振興を図るのであれば、6月に申し上げた「農業総合指導センター」とそれから「大内農業者大会」を本年度も是非やるべきだと考える。生産班長さん方もおりますので皆さん方にご相談いたします。

委 員D

上水道の水質の安全性について伺いたい。(私の住んでいる)近くに貯水槽があり、毎日の管理や検査がなされているという話を聞いたが、毎日そして今後も安心して(水道水が)飲めるのか教えていただきたい。

加藤建設課長

委員Dが利用しておられる小羽広の水道は、保呂羽山を源とした湧水です。消毒、検査を実施しております。きれいで安全な水ですので安心してどんどん飲んでください。

委 員D

ありがとうございます。冬季間も回っているのか。

加藤建設課長

毎日巡視しチェックしております。ご安心ください。

鈴木産業課長

先ほどの委員Cからの意見について
(市民際についてのお願いについて)

農業者大会について、本年度は予算付けがなされていない。この大会運営はJA秋田しんせいと予算を出し合って実施し、小中学校生徒作文についてはJA独自事業として実施されてきた。(補正での)予算確保については、関係機関との連携もあり、予算計上できるのか不明である。

米祭りについて、全市からの農産物出品依頼をお願いしている。

農業賞の表彰については、農林水産部担当課でも、地域での実施の可能性を模索中のようだ。以上です。

委 員C

先ほども言ったが、広報での「米祭り」と他地域市民祭の取扱いの大きさに納得できない。なぜ本荘地域の「米祭り」に他地域から農産物を出展しなければならないのか。

小笠原区長

「米祭り」は由利本荘市の「米祭り」、という捕らえ方のようだ。

「米祭り」という名称の良し悪しは別として、旧本荘市で行われてきた米祭りは、合併と共に終了した。昨年からは「米祭り」という名称で由利本荘市の「米祭り」である。委員Cのおっしゃるように各地域で市民祭を実施

する方法もあるし、市全体としてやるという方法もあるが、これについては後者を選択したということです。このようにするには様々な理由があったことをご理解ください。

委員C 本荘地域で実施される「米祭り」への出品を呼びかけるより、地域市民祭の出品を呼びかけ活性化を図るべきだ。

小笠原区長 農産物の出展数は、大内地域が多いようだ。（地域の特性を生かして）地域市民祭を実施している。委員Cの考え方も理解できる部分もあるが、流れとしては現状の方向ということでご理解願いたい。

委員C （各地域市民祭の名称を例に、大内町時代からの実施回数を付けず、単に）第2回大内地域市民祭というのはあまり（短絡ではないか）、合併によって本荘に合わせ過ぎと映る。

会長 「米祭り」という名称は現実的ではない。（名称は）よく考えるべきだ。

委員E 体育施設の管理について。本年度は草刈作業などの対応が遅いように思う。昨年までは早めの対応をしていたので、今後もそうした対応を願いたい。

東海林生涯学習課長 大会等の使用にあわせて（草刈を）実施したため遅れたが、今後は早めの対応をしていきたい

委員F （総合発展計画主要事業について）第1節地域に開かれた住民自治のまちづくりの中に、集落再編事業とあるが、昨年も話題になったが、具体的にはどのように再編していくのか。次に、農業生産基盤の整備について。良質米あるいは防除体系について具体的な事があったら伺いたい。

斉藤振興課長 町内が希望する場合はそれを支援するという基本的な考え方を述べていますので、行政側から再編を求めていくというもではない。ご理解をお願いします。

鈴木産業課長 防除計画について。来年度については現段階では未定ではあるが、現状を考えると有人ヘリによる散布は難しくなっている。今後、生産班長会議などで相談しながら進めていきたい。安価な方法はないか、消費者の不安も考慮しながら防除協議会で検討されていくと思う。

委員G 下水整備の普及率についてと、工事完了後の加入促進施策について伺いた

い。

火災報知機の全戸加入について。個々の対応となると大変と思うが。

加藤建設課長

大内地域の下水道の普及率は約6割と記憶している。(加入促進の)助成制度について。水洗トイレ等の改造費について、供用開始1年目に実施した場合は3万円、2年目には1万5千円、3年目以降はありません。今後は、融資斡旋制度に変わる見込みです。供用開始後3年間ですが、上限が50万円の利息を全額補助するというものです。今話題となっている環境汚染の原因として生活雑排水が言われている。(下水道加入への)皆様のご理解・ご協力をお願いします。

委員C

北福田町内会で現在下水道の工事が行われている。先の町内会での事業説明で課長から説明のあった補助金交付制度を19年度から無くすということだった。小額ではあるが補助制度を合併により無くし融資制度にする、融資と言っても借金だ。合併によって何でも統一しなければならないということがあちこちに出てきている。こんな考え方はとてもじゃないが理解できない。来年度からは補助金を出さないのか。

委員A

委員Cからの話のように、合併して僅か1年、手のひらを返したように何でも旧本荘市に右ならえといった行政には誠に納得できない。財政的状況もあるでしょうが(住民の利益となる制度を)一挙に無くすというやり方ではなしにもっと長期的に残していくことを考えてもらいたい。来年度以降も下水道の補助制度の継続を強く要望する。

委員H

産業のことも重要ですが、私が今一番心にひっかかっていることは中学生のいじめによる自殺、ということを考えますと学校教育の充実について伺いたい。

小助川教育課長

(教育委員会・大内総合支所・学校・PTAの取組を紹介)

教育懇談会の開催や学校巡回を頻繁に行い、不都合な点はすぐ連絡し対応するようくり返し各学校にお願いしている。

委員B

関連して申し上げる。由利本荘市になり青少年問題協議会の委員に任命された。年1~2回会合を開き総理府から要請のあった問題を審議提言する。秋田県もそうであるが、子育て支援策には大変力を入れているがその上の中・高校生に対する対策に関しては全く手薄である。青少年問題に関して行政・学校・地域の枠にとらわれず皆が本音で話し合い行動していくことが必要であり、このままでは大問題に発展しかねないと思われる。

委 員 I

昨年の会で、「大仙市では、予算の中に地域枠と言うものを作っているが、本市ではそういう計画はないのか。」という質問をした。その回答として、「本市では（そのような）計画はない。」ということだった。総合支所でやれる予算はないのか。

遠藤総合支所長

お答えいたします。総合支所長決裁として本年度 1 千万円ございます。これは支出の条件がございます。そのひとつとして、1 件 1 0 0 万円未満の修繕費です。地域の要望で支出の条件にあえば、すぐに実施しております。1 9 年度については、基本的にはその方向での対応のようですが、金額については今後（財政と）協議していくとの事です。

委 員 I

先ほどから、委員の方々から出ているように、大きな事業はほとんど、合併待ってました、とばかり旧本荘市内で実施されているように感じられる。我々にとって必要な事業は先送りされ、ストレスがたまる思いである。我々が望んでいるのは（先ほどのような）すぐやってくれることだ。1 9 年度も 1 千万円それ以上の予算の確保をお願いしたい。次に集落営農について。どれくらいの取組があるか現状を教えてください。

鈴木産業課長

立ち上げたところは 3 集落。今後見込まれるところが 3 件ほどです。

委 員 I

1 集落 1 団体が基本のようだが、同じ集落でもかなり条件が違うところもあり柔軟な対応をお願いしたい。集落営農に参加しなかった農家へのサポートもお願いしたい。集落営農に加入した場合と、加入しなかった場合の違いを具体的に数字で出して教えてください。

鈴木産業課長

（1 地域で）あまりにも（条件が）違っている場合、1 集落でできない場合は複数の集落がまとまってやっているところもある。分散型はなじまないのではないか。自己完結型では認定農家になる方法もある。（認定農家の説明）（集落営農の）比較について、地域ごとの作物の違いもあるので、米を中心とした比較をして説明している。

委 員 J

地域の行事でも、由利牛堪能祭りは、今年度補正予算で対応した。ということは来年度の実施確約はない、ということだと思う。来た方々にも大変喜ばれ、大変盛大に行われた。楽しみにしているリピーターの方もいたので今後も地域の行事を継続できるよう予算の配慮をお願いしたい。

委 員 K

（大内地域）市民祭について。毎年芸能発表会が初日に開催されてきた。

生涯学習の発表の場として利用されていたが、今年は日程が変更になったことを最近聞いた。それ（日程変更）によって出られなくなった。更に参加団体が少なく（発表会が）取りやめになったようだ。日程変更の市民へのお知らせはあったのか。長年続いてきたし、発表の場として皆さん楽しみにしている。

東海林生涯学習課長

実行委員会で日程が決まる。今年度は民謡のチャンピオン大会と一緒に、という要請があり、実行委員会でも話をした。10月6日の室長幹事長会議でも話したが、（それに対する意見などの）話は出なかった。そのまま進めてきたが最近あちらこちらから、委員のおっしゃるような話がでてきており苦慮している。時期的に変更できず今年度はこのまま進めていくことにした。その後、各種団体から、都合が悪いとの話が出て、別行事との兼ね合いからも参加辞退があった。本来であれば実行委員会や室長・幹事会議で出していれば調整もついたのでと反省している。来年からは日程変更の話があれば皆で話し合っていてよりよい市民祭にしていきたい。今年度は先ほど出ましたように芸能発表会は中止しますのでよろしくお願いします。

委員E

支所長にお願い。大内町時代は新年会があった。大変有意義な会だった。できれば新年会をできないものか。

遠藤支所長

新年会の参加対象者はどういった方々か。

委員E

会費制自由参加です。

遠藤支所長

以前実施していた職員に話を聞きながら、実施の確約はできませんが、委員からのご指摘の方向で実施すべく検討させていただく。

委員F

先ほども出ましたが、下水道あるいはCATVセンターもそうですが補助金の件です。私の町内会では初年度3万円、次年度1万5千円の（補助金を）利用させていただきまして、9割近くの加入率です。こうした例をみても、行政でいくらかでも補助金を出して加入促進したほうが長い目で見て将来的には得ではないか。物ができました、使う人はさあどうぞ、では加入促進にはならないと思う。補助金により加入促進し、利用料を納めてもらうという長い目でみた計画をお願いしたい。次に町内会長手当てについて。3年間で調整し報酬は町内会に入れるということでした。町内会長の職務を考えると、統一を取るとか公平を期すとか非常に良い言葉でいってはいるが、旧本荘市のやり方に引き込まれているように感じてならない。敬老式にして

もそうだ。事前に話をしないで該当基準の変更をしている。このような合併以来の一方的なやり方は、今までなかったような気がしている。こういったことは、区長・支所長はじめ、じゅうぶん考慮いただいて、上のほうにも伝えていただきたい。特にお願いしたい。

委 員 F 9月議会で決まった行政協力員について。昨年市では町内会長を行政協力員として委嘱した。（昨年の）条例を9月議会で改正した。1年足らずで条例改正とはいかがなものか。合併するときからこのような条例制定だったのか、合併後都合によりこうなったのか。（今回の改正内容を紹介し）合併により僅か1年でこのような実態だ。皆さんいかがですか。

委 員 A 行政協力員と会長の職務、その報酬の支払について私も大変疑問に思う。今後開催予定の大内地区行政協力員会議でも申し上げたい。

委 員 I 議会でのやり取りも見ました。大内時代の町内会長は、大きな責任と、職員が個々に足を運んでできないような職務を全部任されてやってきたという責任がすごくある。では、新市になって（今までどおりの）仕事をしなくともいいのか、何も責任もなければ、報酬も下げられてもかまわないし（振込先が）町内会でもいいと思う。旧本荘市は町内会長が必ずしも行政協力員ではないというやり方の追随であると思う。今後様々な町内会（の対応）が出てくると思うが、今までの町内会の経緯と町内会の理解を得ながらやっていくべきだ。私は、今までどおりやっていただきたいと思う。

会 長 この件について、今後しかるべき部署で説明に来るという話もあるので、今回はこれくらいにしたいと思う。
その他みなさんからありませんか。

委 員 L 資料についての要望
大内地域市民祭の会場についての確認

東海林生涯学習課長 （市民祭会場についての説明。）

遠藤総合支所長 （資料についての説明）

佐藤主席参事 委員Gの火災報知器についての質問についてですが、今後新築される家については、設置が義務付けられているとの事ですので、今後PRに努めたい。

会 長 他にございませんか。

無いようです。皆さんから出た多くの意見要望を当局でよく検討して、予算措置できるものは措置していただきたいと思う。

その他について。

協議会について。年4回の会議となっているが、皆が一同に会してはなかなか意見が出にくいだろうと思う。また、全般的なことになると（範囲が）広すぎる面もある。すでに専門部会を設置しているところもあるようです。この際専門部会を作り、（全体の）協議会で専門部会の報告を願い、更に意見を出していただきたい。また、協議会の運営について皆さんにご相談しながら進めたい。皆様にご了解していただけますか。（異議無し）

ということで、何人かの方に組織の枠組みについて意見を聞きながら、専門部会についての皆さんの希望を聞きながら今後進めたいと思う。ご賛同していただけますか。

（一同異議なし）

会 長

そのようにしたいと思います。よろしくお願いいたします。

その他、ございませんか。

（無し）

事務局から外に無いか。

（無し）

以上で、第2回大内地域協議会を終了します。

11時34分 閉会

